

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		1/29-2/5	2/5-2/12	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.035	0.069
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.022	0.035
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.028
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	0.044
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	0.031
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.015	0.030
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	0.030
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	0.016	不検出
		セシウム137	0.24	0.036

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		1/29-2/5	2/5-2/12	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.014
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第127回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(2020年1月29日～2020年2月12日)

今回、大気中の浮遊塵に含まれるセシウム137濃度は、平均0.035mBq/m³と過剰被ばくを考えなくて良い状態です。このところ、新型コロナウイルスによる感染症がわが国でも広がっております。このウイルスは、大気中を長時間漂うタイプではないようですが、放射能と同じように体内へ取込まないよう、マスクを着用して直接吸入することを避け、しっかり手洗いをして濃厚接触からの間接吸入を避けことで感染の危険性はかなり軽減されるようです。放射能の場合と同じように、ウイルスのことを理解することが身を守る手段になると思われます。